

# NEWS RELEASE



株式会社アマダ  
〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田 200  
TEL:0463-96-3105 FAX:0463-94-9781  
URL: <http://www.amada.co.jp>

## パンチ・レーザ複合加工機「EML」70%増産 高い評価「短納期 多品種少量生産対応」 年内国内外合わせ 180 台突破

アマダ(社長 岡本 満夫)は、NC タレットパンチプレス (NCT) とレーザ加工機を一体化した複合加工機「EML-3510NT」を筆頭とする EML シリーズが 2005 年の市場投入以来、国内・海外ともに受注が順調に推移していることから本年度 70%の増産を図る。同時に営業を強化、拡販に乗り出す。短納期に対応する高速加工、多品種少量生産、キズレスなどの高品質加工、タップ工程などの工程統合に対応する多様な加工機能をユーザーが高く評価、着実に受注を伸ばしているもので、年内には納品ベースで国内外合わせ累計 180 台突破が確実にとなった。

この「EML」は、パンチング駆動部に当社のヒット商品である『EM シリーズ』に搭載した「AC サーボ・ダイレクトツインドライブ」※機構を採用し、 $500\text{min}^{-1}$  {hpm} という世界最速のヒットレートを誇る NCT と、毎分 10m という高速切断のレーザ加工機を組み合わせで開発したマシン。

従来機を大幅に上回る処理能力をもち、素材に穴あけ、バーリング、タップを行い、その後のバリ取りを含めると合計 11 時間かかっていた作業が、この複合加工機を使うと 4 時間で済む。実に約 3 分の 1 という高速処理を可能にした。

EML には大型のワークシューターを設置して中・大型製品の搬出を容易にしたほか、レーザ切断後高速で製品を取り出すテイクアウト装置 (オプション) を採用することで、マイクロジョイントレス加工を可能にするなど高速加工と後工程の省略のための工夫が随所に組み込まれている。

短納期、多品種少量生産と同様にスタンダードになってきたのが高品質の要求。これに対応するため浮上式のブラシテーブルと P&F (パンチング&フォーミング) 機能を採用。上向

き、下向きのバーリング加工時のキズなし加工を可能にしたほか、ダイを上下させることで下方からの絞り加工を可能にした。さらに4軸のタップユニット（オプション）を採用し、パンチ加工、成形加工とタップ加工との工程統合を実現した。

加えてパンチ加工時にはエアジェットバキューム機構を取り入れ、打ち抜き後のカス上がりを強制的に抑える機能を採用。

一方のレーザ加工時は加工ヘッドがY軸方向にだけ動く1軸移動で、X軸方向はワークが動く独特の方式を採用した。高速加工を実現した上、ワークがタレット領内に入ることがなく、NCTの金型によってワークにキズがつかないなどの特徴をもつ。

この複合加工機はプレス能力30トン。レーザ発振器は出力4kWと2kWの2種類で、加工板厚は最大6mm。

EMLシリーズは昨年1月から販売を開始した。高速加工、多品種少量生産対応機能がユーザーニーズと合致、販売は好調な足取りをみせている。

累計納品180台の内訳は国内が100台、海外が80台。

また、国内100台のうち約5割がマイクロジョイントレス仕様となっており、システム化されたEMLのメリットが市場に受け入れられている。

今後、国内外で拡販に努めるが、板金加工機械の大市場である欧州を中心に市場開拓を行うことにしており、10月にドイツで開かれる板金加工機械の展示会「Euro Blech（ユーロブレッシ）2006」に出品する計画。

このマシンは、素材棚、製品棚、テイクアウトローダー、スケルトン集積装置で構成する“ソリューションパック”として販売していく方針。24時間運転可能なマシンである点を強くアピールする。

なお生産は昨年度の年間80台を今年度140台に増産する計画。

#### 主な仕様（EML-3510NT）

項目	数 値
パンチ加工範囲	2,500×1,525 mm
レーザ加工範囲	2,500×1,270 mm
複合加工範囲	2,500×1,270 mm
発振器	2 kW、4 kW
早送り速度	X・100m/min Y・80m/min YL・80m/min
最大ワーク質量	75kg

- ※ 「AC サーボ・ダイレクトツインドライブ」＝偏芯機構に剛性の高いエキセンシャフトを採用し、左右に2分割されたサーボモーターを直結した駆動装置。シンプルかつバランスのとれた構造で、ムダのない動きが高ストロークを実現する。またラム停止時のエネルギーをラム始動時のエネルギーとして有効活用することで電力平準化を計るなど、電力と機構の損失を極小化できるという特長を持つ。

本件に関するお問い合わせ先

(株)アマダ 社長室 広報・IRグループ

担 当 菊間 土屋

電話 0463-96-3105 (ダイヤルイン)